

稲毛区防災公開講座「災害時のトイレ対策」を開催します

稲毛区では、災害時のトイレ問題に備え、防災公開講座「災害時のトイレ対策」を開催しますので、お知らせします。

1 趣旨

令和6年元日に発生した能登半島地震では、上下水道の損壊によりトイレを使用することができず、深刻なトイレ問題が大きく報道されました。阪神淡路大震災の際にはこれを「トイレパニック」と呼び、その後も大災害の度にトイレパニックは起きています。

このトイレ問題にどう備えるべきか、過去の事例を踏まえた「災害時のトイレ対策」について、防災公開講座を開催し、住民の防災意識の向上を図ります。

2 講師

加藤 篤 氏（特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事）

3 日時

令和7年3月2日（日）14：00～15：30（予定）

4 会場

穴川コミュニティセンター1階 多目的室
（稲毛区穴川4-12-3）

5 対象者・定員

稲毛区在住・在勤・在学の方 180人

6 参加方法

当日、会場にて申し込み（先着30人）

※事前申し込みは終了しています。



加藤 篤 氏

7 取材申し込み

2月28日（金）17：00までに稲毛区地域づくり支援課（電話284-6101）へご連絡ください。

<参考>講師プロフィール

加藤 篤（かとう あつし）氏 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事

1972年、愛知県生まれ。まちづくりのシンクタンクを経て、現在、特定非営利活動法人日本トイレ研究所代表理事。災害時のトイレ・衛生調査の実施、小学校のトイレ空間改善、小学校教諭等を対象にした研修会、子どもたちにトイレやうんちの大切さを伝える出前授業、子どもの排便に詳しい病院リストの作成などを展開している。

「災害時トイレ衛生管理講習会」を開催し、災害時にも安心して行けるトイレ環境づくりに向けた人材育成に取り組んでいる。

○経歴

1996年3月 芝浦工業大学 システム工学部 環境システム学科卒業

1997年2月 株式会社地域交流センター企画入社
トイレ部門（現日本トイレ研究所）に配属

2009年9月 特定非営利活動法人日本トイレ研究所を設立、代表理事となり現在に至る

○委員等

日本トイレ大賞（内閣官房）審査委員

避難所の確保と質の向上に関する検討会・質の向上ワーキンググループ委員（内閣府）
循環のみち下水道賞選定委員（国土交通省）

日本の快適なトイレの試行的設置に関する実現可能性等調査検討会委員（経済産業省）

東京都防災会議専門委員（東京都）

徳島県災害時快適トイレ計画策定検討委員（徳島県）

○主な著作文等

「トイレからはじめる防災ハンドブック」学芸出版社（2024年）

「もしもトイレがなかったら」少年写真新聞社（2020年）

「うんちはすごい」株式会社イーストプレス（2018年）

「うんちさま」絵本 金の星社（2011年）

「四快のすすめ」共著・神山潤編 新曜社（2011年）

「元気のしるし朝うんち」共著 少年写真新聞社（2010年）

「水の知」共著・沖大幹監修 化学同人（2010年）

「うんちっち！のうた」作詞 日本トイレ研究所（2009年）